

2005年12月20日

「第一回 平塚らいてう賞」受賞者決定
～顕彰「人身売買禁止ネットワーク」ほか～

日本女子大学（学長 後藤祥子）は、本年7月から9月まで募集していた「第一回 平塚らいてう賞」の受賞者を決定した。

「平塚らいてう賞」は、人生を女性解放や世界平和のための活動に捧げた平塚らいてう氏（1906年日本女子大学卒業）の遺志を継承し、男女共同参画社会の実現および女性解放を通じた世界平和に関する研究や活動に対する顕彰と奨励をはかることを目的に創設したものである。募集にあたっては、本趣旨を社会に広く伝えまた今後の活動が進展することを願って、全国で研究や活動を行なっている個人または団体を対象としている。

今回は、初めての募集で十分に情報が行きわたったとは言い難いが、世相を反映して多様な13（9団体・4個人）の応募があり、厳選な審査の結果、顕彰1点、奨励賞2点、特別賞1点が決定した。

顕彰は、これまで際立った功績をあげた者に授与され、奨励賞は、研究や活動を継続的行なっている者、あるいは新たに取り組もうとしている者に授与される。

特別賞は、第一回を記念して、本賞の創設のきっかけとなった「平塚らいてうの記録映画」の作成に多大なる貢献をされた「らいてう研究会」に対して設けられたものである。

応募内容は、高い専門性による研究や、全国的組織あるいは地域密着型の市民活動まで、多岐にわたる分野で、いずれも感動・敬服に値するものであった。

本賞は、今後も継続の予定であり、顕彰にはもちろんのこと奨励賞についても、これからの社会を担う多くの若い研究者や活動家の応募を期待したい。

なお、贈賞式は、2006年2月11日（土）14時半より、日本女子大学において行なわれる。

受賞者は以下の通り。

顕彰	<p>人身売買禁止ネットワーク 代表者: 戒能民江、大津恵子、吉田容子</p> <p>現在、国連が優先的課題として求められているテーマのひとつが“人身売買禁止の活動”である。しかし日本ではまだ政府の動きも見られず、アジアをはじめとする国際社会から指摘されているのが実情である。このような状況下で本団体は、しっかりとした基本的な考えを持ち、多方面の専門家と市民の連携によって研究・活動を進めてこられていることに敬服する。このようなNGOの発言力は今も将来も、日本社会にとって重要な役割を担うものと思う。常に深刻な問題に先駆的に取り組んできた「平塚らいてう」が今この世に存在しているならば、この課題に関わったのではないかという思いを込めて「らいてう賞（顕彰）」を贈るものとする。</p>
奨励	<p>丸浜 江里子(明治大学大学院)</p> <p>半世紀前に、杉並の公民館に集う主婦たちが始めた水爆禁止署名運動の足跡をたどり掘りおこす研究は、膨大な資料の整理・記録・聞き取りという地道な努力と熱意を要する貴重な活動になる。当時と現代の人間の関係など、生の人間に視線がいけばおもしろい論文にまとまり、評価の異なる市民活動を分析することによって、より客観的な成果も期待できる。今回は修士論文であり1年後の研究発表とともに、この研究をさらに継続・発展させ、その成果を社会に還元していられるよう望む。</p> <p>大島 香織(日本女子大学博士課程満期退学、現在博士候補者)</p> <p>反核運動の象徴であるヒロシマの平和運動の原点を研究対象とすることは、現在の時点でも重要な課題である。また学術分野での発表も着実に丹念に行っており、研究の優れた計画性が窺われる。今後、ヒロシマの戦後状況の中での女性の存在や活動に焦点を絞った研究も加えてほしい。</p>
特別	<p>らいてう研究会 代表者: 折井美耶子</p> <p>本研究会は「平塚らいてう」について最も正統な活動をしてこられた会であると敬服する。特に、在野に根ざした女性研究に携わった人々の集大成である『青鞥人物辞典』は、市井の方々の集いの中から生まれ、女性研究に大きな役割を果たすものとして社会的評価を得ている。その意味で、「平塚らいてう賞（顕彰）」に値する。しかしながら一方で本研究会は、この「らいてう賞」創設のきっかけとなった「平塚らいてうの記録映画」の作成に絶大なる貢献をされており、顕彰というよりはむしろ第一回の賞を記念し、感謝の気持ちを伝えるべく「特別賞」をさしあげることとした。今後も、特に学会や学術雑誌など研究の場を通じ、「平塚らいてう」の名を後世に繋げられることを大いに期待する。</p>

〈 選考委員 〉

- 後藤 祥子 [日本女子大学学長]
- 中畠 邦 [平塚らいてうの記録映画を上映する会会長]
- 杉森 長子 [WILPF(婦人国際平和自由連盟)日本支部会長]
- 羽田 澄子 [映画監督]

お問い合わせ先

学校法人 日本女子大学 広報渉外課

Tel:03-5981-3163 Fax:02-5981-3164

または学園プロジェクト推進事務室

Tel:03-5981-3773 Fax:03-5981-3774

<http://www.jwu.ac.jp/>